

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

岐阜県 本巣市

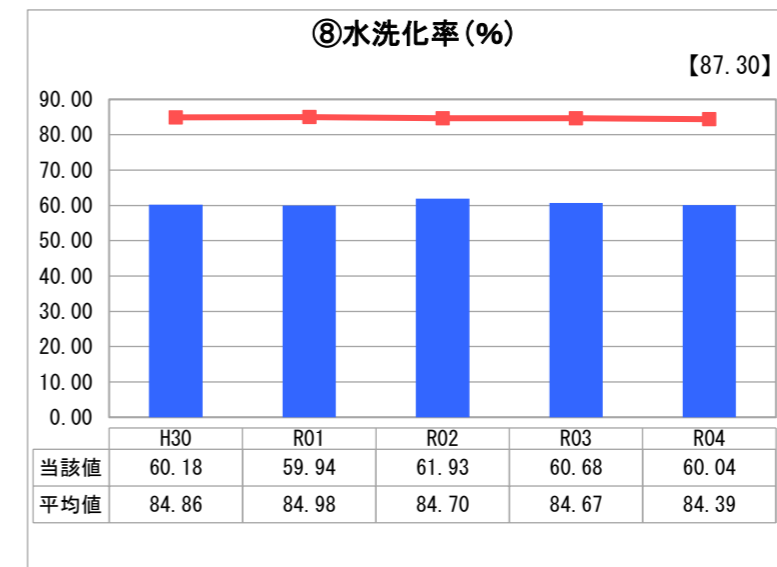
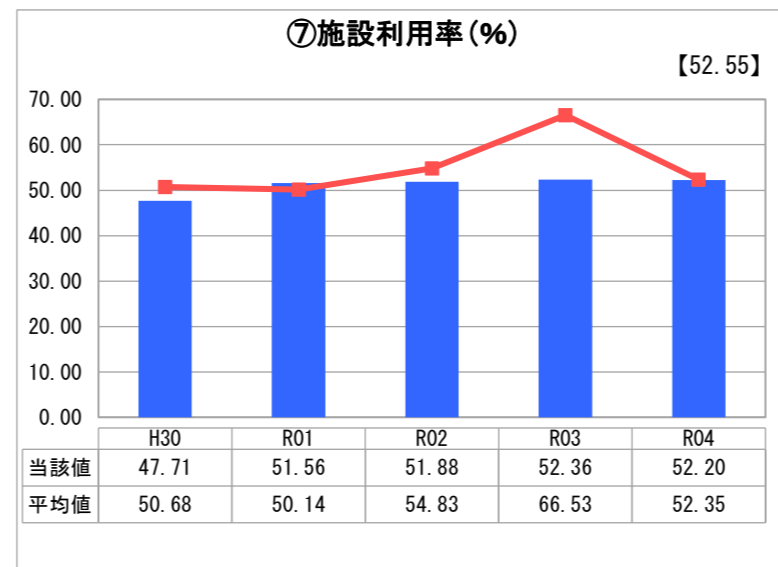
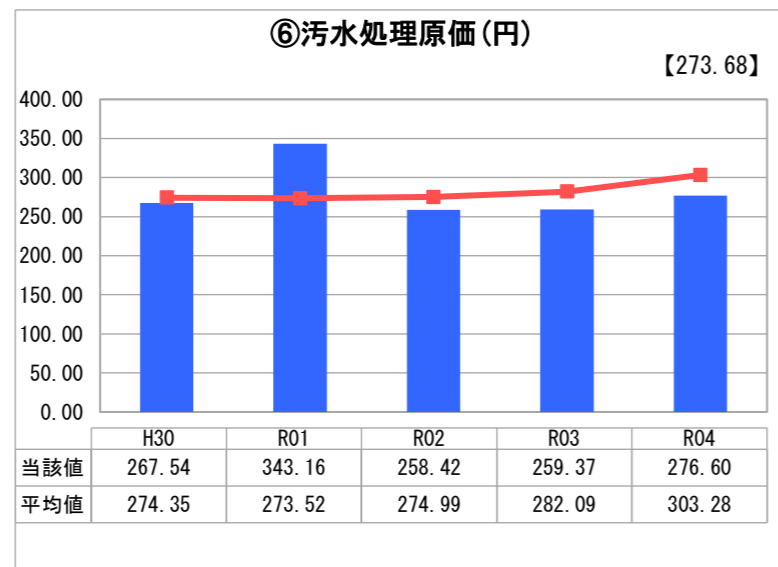
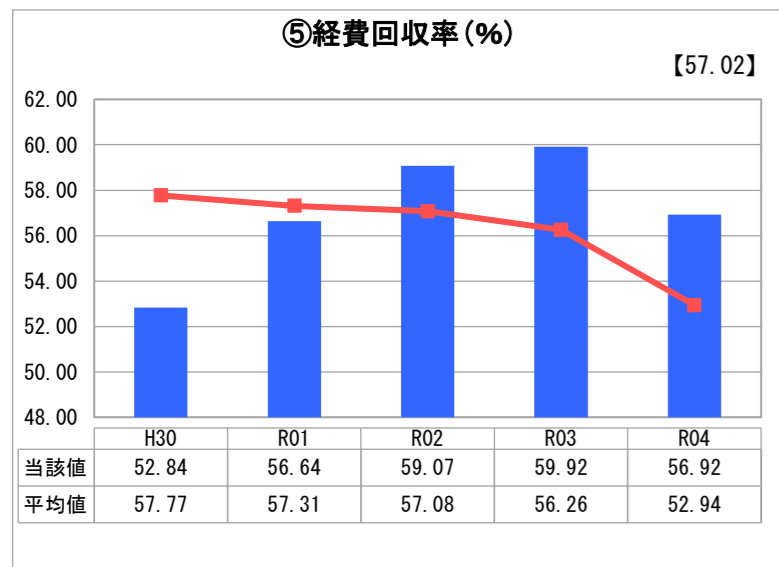
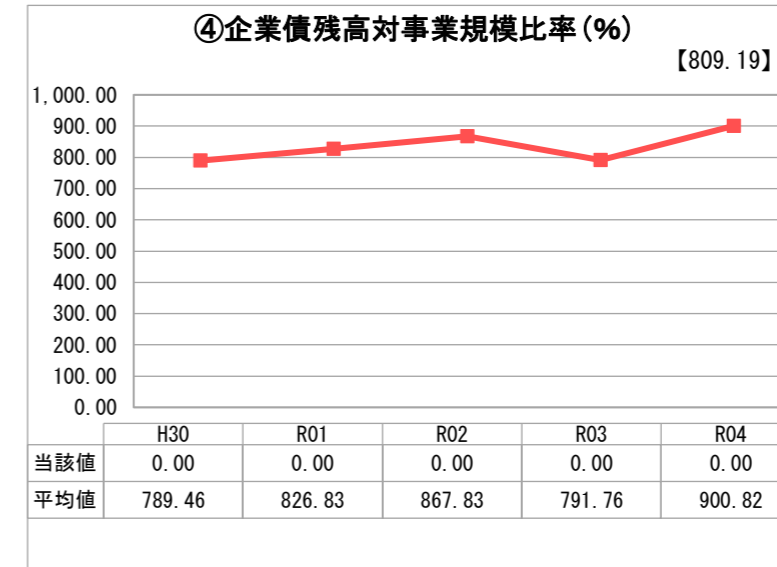
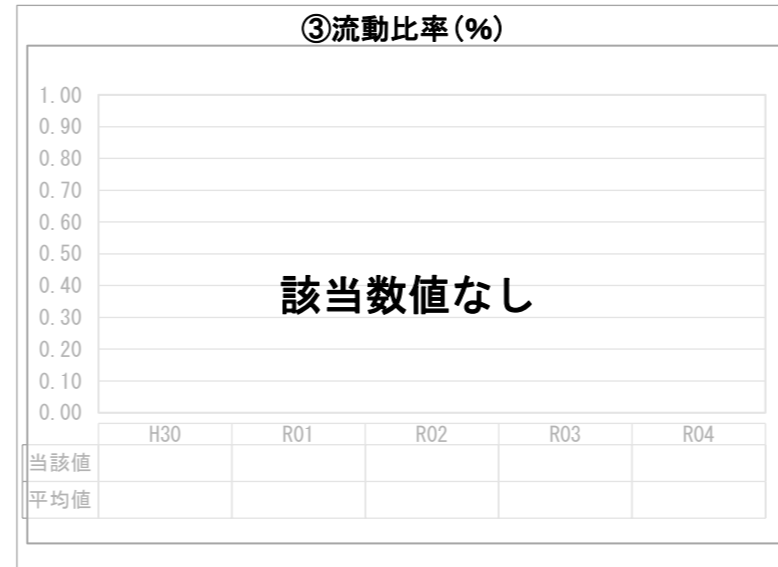
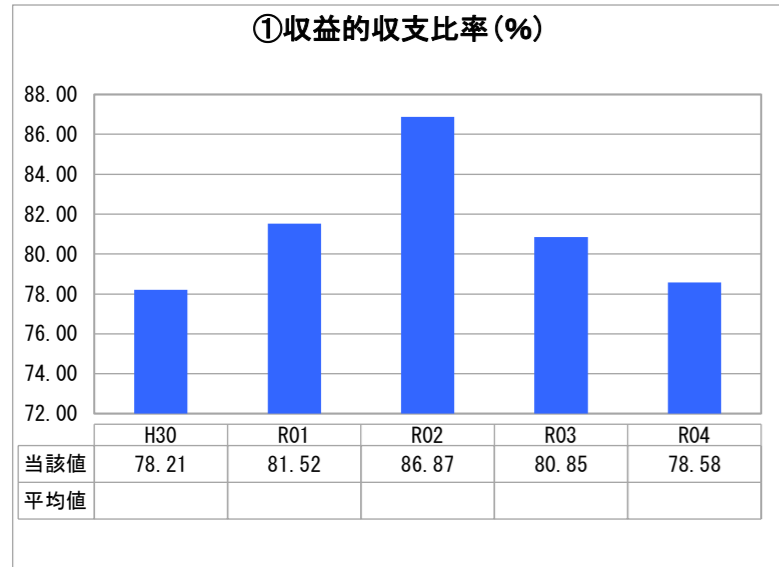
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	47.99	85.12	4,070

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,092	374.65	88.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,877	10.37	1,531.05

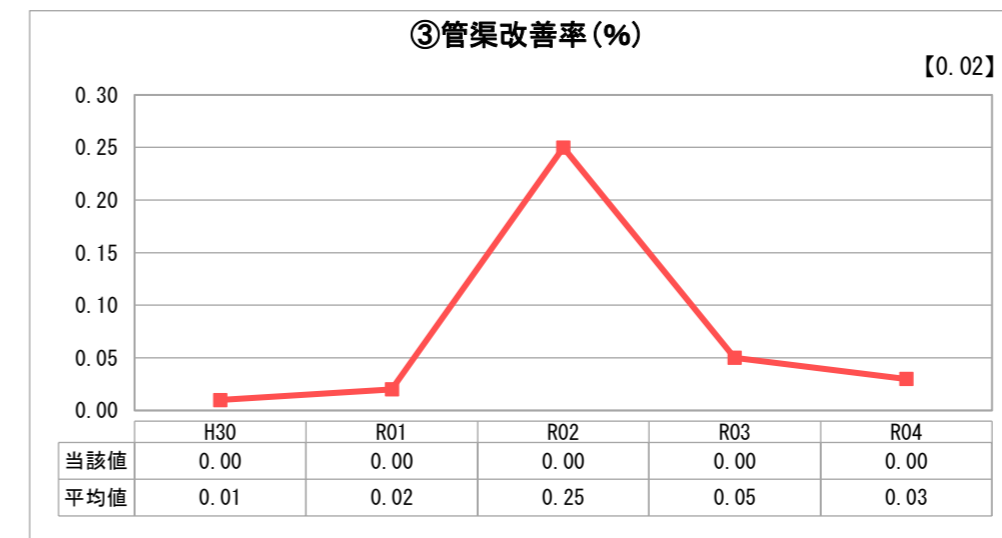
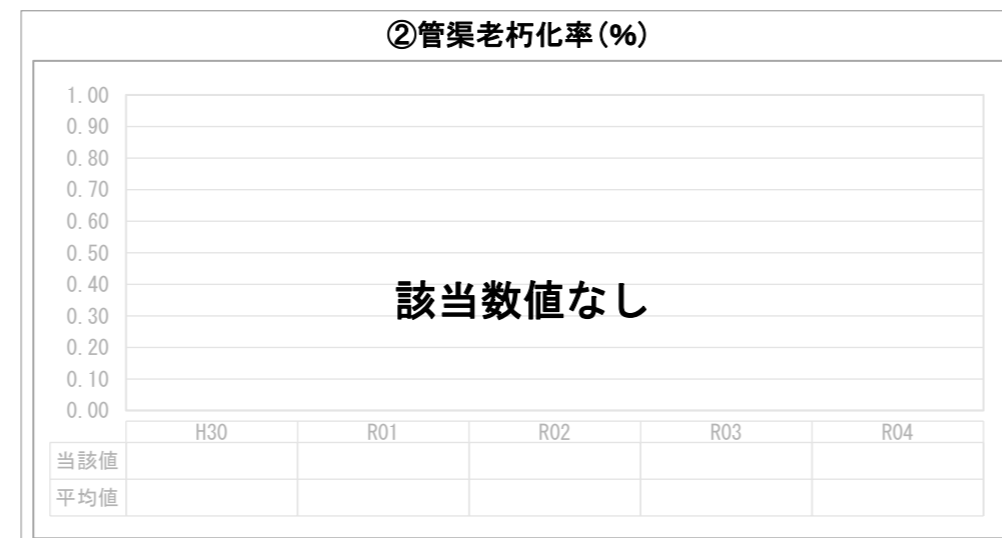
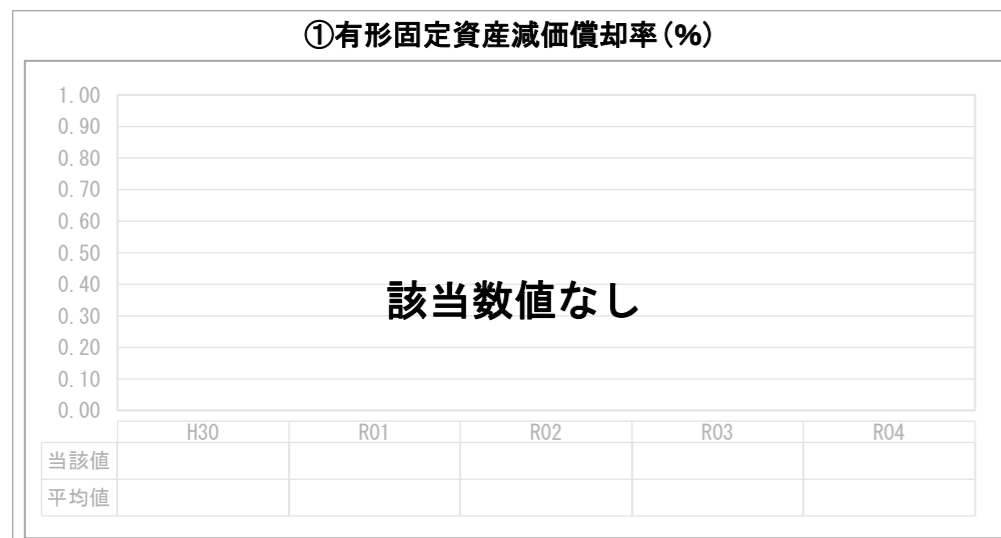
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は令和2年度までは増加傾向にあったが、令和3年度で減少し依然として100%を下回っています。  
 経費回収率は56.92%と前年度から減少しているうえに、農業集落排水施設料だけでは経費を賄いきれておらず、一般会計繰入金で経費を賄っている状態です。  
 施設整備事業は終了しており、新たに借入れる企業債は減っているため、償還額は年々減少しています。現在費用の多くを占めている企業債償還金が減少することにより経営改善が見込まれるため、今後も企業債の借入れの抑制に努めていく必要があります。  
 汚水処理原価については、有収水量と汚水処理費がともに減少したことによりほぼ変わらず、昨年と同様、類似団体と比べて低い数値となりました。  
 施設利用率は微増、水洗化率は微減となりましたが横ばいの状況であり、依然として類似団体と比べて低い数値であることから、今後も水洗化率向上に努めていく必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

集中した期間で整備を行っていることから将来的に施設更新の時期が重なることを見据え、最適化整備構想を基に、計画的な更新と財源確保をしていく必要があります。

### 全体総括

新たに下水道への接続する人の増加が収益の増加へと繋がるため、下水道への転換や新規加入について広報やホームページなどでPRし、接続率の向上を図る必要があります。さらには、効率的な施設の維持管理による経費抑制、広域化への取組や企業債の借入れの抑制に努めるなど、経営改善を図ります。  
 また、老朽化による将来的な施設更新を見据え、更新年度が重ならないよう更新計画を策定し、維持管理経費の削減と計画的な修繕を行い、効率的な事業運営に努めていく必要があります。そして、有収水量や料金収入の増加を図り、更新投資のための財源を確保していく必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。